

2011 年 第 24 回和歌山コールドカップ

和歌山セーリングセンター

2011/2/12-13

帆走指示書 (Sailing Instructions)

この帆走指示書では以下の略称を使用する

- RC :レース委員会
- RRS :セーリング競技規則 2009-2012年版
- NOR :レース公示
- SI :帆走指示書

1.適用規則

- 1.1 2009-2012 セーリング競技規則(以下 RRS)、日本セーリング連盟規定、当該クラス規則を適用する。
- 1.2 赤色旗を必要とする。これは RRS61.1(a)(2)を変更している。
- 1.3 NORとSIが矛盾する場合はSIを優先する。これは RRS 63.7 を変更している。

2.(ブランク)

3.競技者への通告

競技者への通告は和歌山セーリングセンター「クラブハウス」玄関に設置する公式掲示板に掲示される。

4.帆走指示書の変更

SIの変更は、その日最初のレーススタートの60分前までに掲示する。但し、レース日程の変更については発効する前日の18:00までに掲示する。

5.陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は和歌山セーリングセンター「クラブハウス」前に設置されたフラッグポールに掲揚される。
- 5.2 音響1声と共に掲揚される『D』旗は「競技者はレース・エリアに向かいなさい。最初の予告信号は『D』旗掲揚の30分以降に発する」「艇は、この信号が発するまでハーバーを離れないことを求められる」を意味する。
- 5.3 『D』旗が掲揚されない場合は、その日のレース又は次のレースのスタート時刻が延期されていることを意味する。

6.海上で発せられる信号

スタート・ライン又はフィニッシュ・ラインに位置するRC艇、またはその他のRC艇に『N/H』旗、『N/A』旗、『AP/H』旗、『AP/A』旗が掲揚された時は、RRS信号に定められたそれぞれの意味に加え、「全艇直ちに帰港し、帰着申告をしなさい」を含むものとする。

7.レースの日程

7.1 2月12日(土)

07:00	マリーナ開門
08:30~09:20	大会受付
09:20	開会式・艇長会議
10:25	最初のクラスの1日目第1レースの予告信号 引き続きレースを行う。

2月13日(日)

08:00	マリーナ開門
09:25	最初のクラスの2日目最初のレースの予告信号 引き続きレースを行う。
16:00(予定)	ただし、14:00以降に予告信号が発せられることはない。 閉会式、表彰式

7.2 本大会は最大7レースまでとする。

7.3 1日に行われるレースは最大4レースとする。

7.4 各日とも海上での昼食を予定しているので、各自で用意のこと。

8.クラス旗

- Aクラス 『OP 級クラス』旗
- Bクラス 『G』旗

9.レース・エリア

添付 1 図に、レース・エリアの位置を示す。

10.コース

- 10.1 添付 2 図に、レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序およびそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。
- 10.2 予告信号以前に、RC の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

11.マーク

- 11.1 マーク 1、2および3はオレンジ色三角錐形ブイとする。
- 11.2 スタート・マークはスターボード・エンドの RC の信号艇とポート・エンドの黄色円筒形のブイとする。
- 11.3 フィニッシュ・マークはスターボード・エンドの RC 艇とポート・エンドのオレンジ色球形のブイとする。
- 11.4 コースのレグの変更の信号を発するRC艇は、SI13.3 で規定するマークである。

12.スタート

- 12.1 スタートは RRS 26 を用いて予告信号をスタート信号を 5 分前とし、スタートさせる。
- 12.2 スタート・ラインは、スターボード・エンドの RC 艇上で『オレンジ色』旗を掲揚しているポールまたはマストとポート・エンドのオレンジ色球形のブイのコースの側の間とする。
- 12.3 スタート信号から 4 分より後にスタートする艇は、審問なしに「スタートしなかった」(DNS)と記録される。これは RRS A4 を変更している。
- 12.4 RRS30.3 (黒色旗規則)が適用されたレースのスタート後、ゼネラルリコール信号が発せられた場合またはレースが中止となった場合には、規則に違反した艇のセールナンバーをスタート・ラインの RC の信号艇に掲示する。

13.スタート後のコース変更及びレースの中止

- 13.1 コースの最後のレグに限りフィニッシュ・ラインの位置を変更することがある。
- 13.2 フィニッシュ・ラインの位置を変更する場合は、マーク3付近に位置する RC 艇に反復音響と共に『C』旗を掲揚し、フィニッシュ・ラインのおおよそのコンパス方位を掲示する。但し、新しいレグの長さが変更されても『+』(延長)または『-』(短縮)を掲示しない。これは RRS33 を変更している。
- 13.3 マーク3を回航する艇は、SI13.2 の信号を発している RC 艇とマーク3の間を、マークをポートに見て通過しなければならない。これは、RRS28.1 を変更している。
- 13.4 RC は RRS 32.1 に基づき、大きな風向の変化や風速が 5 ノット以下に低下したなどの理由により、競技の公正が保たれないと判断した場合、レースを中止する場合がある。この項に基づきRCが、レースの継続、中止を判断したことについて、競技者による抗議と救済の要求はできない。これは RRS 62.1 (a)を変更している。

14.フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、スターボード・エンドの RC 艇の『オレンジ色』旗を掲揚しているポールまたはマストとポート・エンドのオレンジ色球形ブイのコースの側の間とする。

15.ペナルティー方式

- 15.1 RRS 付則 P を適用する。
- 15.2 RRS 付則 P2.3 は適用せず、RRS 付則 P2.2 を“2 回目以降のペナルティーに適用する”と変更する。
- 15.3 RRS44 に基づきペナルティーを履行した艇またはリタイアした艇は、抗議締切時間内に報告書をレースオフィスに提出しなければならない。
- 15.4 プロテスト委員会のメンバーが、レース中に 1 艇または複数の艇の RRS 第 2 章の規則違反を目撃した場合、ペナルティーの履行を促すために音響 1 声を発することがある。

16.タイムリミット

先頭艇がコースを帆走してフィニッシュ後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった」(DNF)と記録される。これは RRS35 および A4 を変更している。

17.抗議および救済の要求

- 17.1 艇が海上において抗議する場合には、赤色旗の掲揚を必要とし、レース中でなくなるまで赤色旗を掲揚しておかなければならない。加えてフィニッシュ後、直ちに抗議の意志と被抗議艇のセール番号を『B』旗を掲揚した RC 艇が確認するまで口頭で伝えねばならない。これは RRS61.1(a)を変更している。
- 17.2 RC またはプロテスト委員会による抗議の公示を RRS61.1(b)に基づき伝えるため掲示する。但しその文にある【レース後、規則 61.3 の抗議締切時間内に、その艇に伝えなければならない。】を【レース後、規則 61.3 の抗議締切時間内に、公式掲示板に掲示しなければならない。】に変更する。これは RRS61.1(b)を変更している。

- 17.3 抗議書はプロテストオフィスで入手できる。抗議締切時間までにプロテストオフィスに提出されなければならない。
 - 17.4 抗議締切時間は、その日の最終レース終了から 60 分後とし、その時刻は公式掲示板に掲示される。
 - 17.5 審問の当事者および証言者の氏名と審問開始時刻は、抗議締切時間から 30 分以内に公式掲示板に掲示する。
 - 17.6 SI15.1 により、RRS42 の違反を認めた艇またはプロテスト委員会により失格とされた艇は、公式掲示板に掲示される。
 - 17.7 大会最終日における審問再開要求の締切時間は：
 - (a) 再開を要求する当事者が最終日の前日に判決を知らされていた場合には最終日の抗議締切時間とする。
 - (b) 再開を要求する当事者が最終日に判決を知らされた場合には、その判決から 30 分後の時間とする。これは RRS66 を変更している。
 - 17.8 SI15.3、19、21、23、24 および 25 の違反は競技者による抗議の理由にはならない。これは RRS60.1(a)を変更している。これらの違反に対するペナルティーはプロテスト委員会が決めた場合には、失格より軽減することができる。
- 18.得点方式
- 18.1 本大会は 1 レースの完了をもって成立とする。
 - 18.2 得点の除外
 - (a) 完了したレースが 3 レース以下の場合には、全レースの合計得点とする。
 - (b) 完了したレースが 4 レース以上の場合には、最も悪い得点を除外した合計得点とする。これは RRS A2 を変更している。
 - 18.3 SI19 の違反によりペナルティーを受けた艇の得点は DNF の得点より悪くなることはない。
 - 18.4 SI19.2～19.6 に規定されたペナルティーの略語は、PFP (Penalty of Five Points) とする。
- 19.安全規定
- 19.1 レースをリタイアする競技者は、その旨を RC に速やかに報告しなければならない。
 - 19.2 海上では常に適切な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは適切な救命胴衣とは見なされない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これは RRS40 を変更している。
 - 19.3 競技者は笛を救命胴衣にラニヤードで確実に取り付けて置かねばならない。
 - 19.4 ブレードの面積が 0.025 m²以上のパドルをラニヤード又は弾性コードで確実に取り付けて置かねばならない。
 - 19.5 SI19.2～19.4 の規定およびクラス規則 3.3.4、4.2(a)・(b)、4.3(a)・(b)に違反した場合には競技者の得点は、違反が認められたレースについて、審問なしにペナルティーとして 5 点加算される。
 - 19.6 競技者は、出艇前、及び帰着後その日の最終レース終了から 60 分以内に、レースオフィス前に設置される申告用紙に出艇または帰着のサインをしなければならない。この規定に違反した場合には、違反した日の全レースの得点について、審問なしにペナルティーとして 5 点加算される。
 - 19.7 救助を必要とする競技者は、笛を吹き、パドルまたは片腕を振って、知らせなければならない。RC は、救助を要すると判断した場合には、救助を必要とする競技者の意向にかかわらず、救助することができる。これは RRS62.1(a)による救済の根拠にならない。
- 20.装備品の交換
- 20.1 損傷または紛失した装備品の交換は RC の承認がなければ許可されない。交換の要請は最初の適当な機会に RC に行わなければならない。
 - 20.2 損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上の RC によって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後に RC による検査を受けた承認を得なければならない。
- 21.計測および装備品の検査
- 艇または装備品は、クラス規則とSIに従って、いつでも検査することができる。
- 22.オフィシャル・ボート
- 22.1 オフィシャル・ボートには以下の旗を掲揚する。ただし、これらの旗の掲揚の誤りは RRS62.1(a)による救済の根拠にならない。
 - 22.2 RC 艇 :『RC』旗、プロテスト委員会艇 :『JURY』旗、レスキューボート :『RESCUE』旗、
- 23.サポート・ボート
- 23.1 サポート・ボートは海上では常時 RC が支給する『ピンク色』旗を掲揚していなければならない。

- 23.2 サポート・ボートは次の条件を満たす場合にのみ使用が認められる。
- (a) 参加申し込み時に申請用紙にて RC に使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇は認められず、乗艇者数を 2 人以上、定員の 1/2 以下と制限する。
 - (b) レースの準備信号から最終艇がフィニッシュするまでの間は、添付 2 図「コース」に示すスタート・エリアおよびレース・エリアに入ってはならない。但し、レースの延期または中止あるいはゼネラルリコールの信号が発せられた場合には、次の準備信号までは上記エリアに入ることが認められる。
 - (c) 全てのサポート・ボートに対する救助活動要請は、RC 艇に『ピンク色』旗を掲揚して通告する。この要請があった場合、サポート・ボートは救助活動のために添付 2 図「コース」に示すスタート・エリアおよびレース・エリアに入ることができる。但しサポート・ボートは、救助活動を除き、レース艇に援助を与えてはならない。
- 注. 援助は RRS41 と同義語とする。
- 23.3 サポート・ボートが SI23.1 または SI23.2(a)~(c)に違反した場合には、プロテスト委員会の判断により、そのサポート・ボートに関する全競技者の当該レースを失格とするか、または、その他の措置が取られることがある。

24. ゴミ処理

艇は、海にゴミを投棄してはいけない。ゴミは、サポート・ボートまたは RC 艇に預けることができる。

25. 無線通信

- 25.1 緊急の場合を除き、レース中の艇は無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は携帯電話にも適用する。
- 25.2 艇の GPS 及びデジタルコンパスの使用を禁止する。

26. 賞

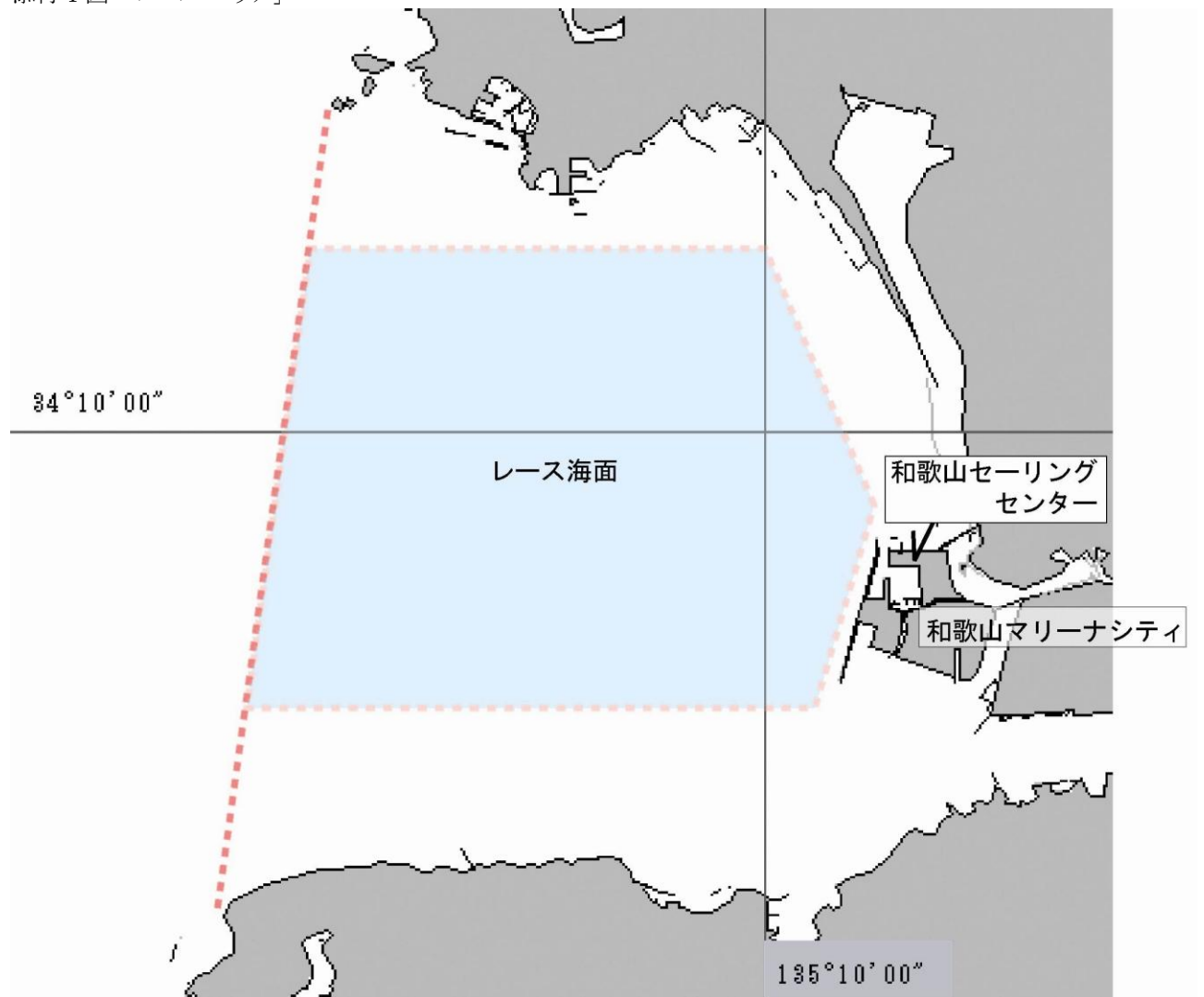
NOR の通りとする。

27. 責任の否認



本大会に競技者は自分自身の責任においてレースに参加する。RRS4 参照。

主催団体は、本大会の前後および期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

添付1図「レース・エリア」



添付2図「レース・コース」

- コース (クラス旗)  スタート→①→②→③→フィニッシュ
 スタート→①→②→③→フィニッシュ

角度はおおよそ。

サポートボートは救助時以外、
各コースから150m以上離れること

